鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）発行

伊集院保健所感染症情報

2026年第46週（令和8年11月9日～令和8年11月15日）

【お問い合わせ先】　〒899-2501　鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1　鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
TEL（099）273-2332 ／ FAX　（099）272-5674 ／　E-mail　kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
鹿児島地域振興局　URL　http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html

定点把握感染症

管内流行発生注意報発令中：インフルエンザ

定点医療機関【ARI２（インフルエンザ・COVID）、小児科１、基幹定点１】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第43週	第44週	第45週	第46週	先週からの増減	第45週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	99.50	98.50	100.00	97.50	↘	57.39	↘
インフルエンザ	30	10	10	20.50	21.00	20.00	18.00	↘	12.25	↘
COVID-19	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.26	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.39	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	4.00	3.00	2.00	6.00	↗	1.48	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	7.00	1.00	1.00	0.00	↘	3.39	↘
水痘	2	1	1	0.00	**2.00**	0.00	0.00	→	0.35	↘
手足口病	5	2	—	0.00	2.00	1.00	1.00	→	0.29	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.32	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	1.00	1.00	1.00	2.00	↗	0.84	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
ＲＳウイルス感染症	—	—	—	6.00	2.00	3.00	0.00	↘	0.68	↘

※警報域　：太文字で赤色の塗りつぶし、　注意報域　：太文字で黄色の塗りつぶし

TOPIC　　鹿児島レッドリボン月間について（11月16日～12月15日）

レッドリボンは、ＨＩＶ感染者・エイズ患者への理解と支援の意思を示すためのシンボルとして使われ始め、その考えに共感した人々によって世界的な「レッドリボン運動」として発展してきています。また、UNAIDS（国連合同エイズ計画）のシンボルマークとしても採用されています。

本県においては、この趣旨に賛同し、WHO（世界保健機関）がエイズのまん延防止及び感染者・患者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的として定めた 12 月１日の「世界エイズデー」を中心とした１か月間を「鹿児島レッドリボン月間」と定めています。

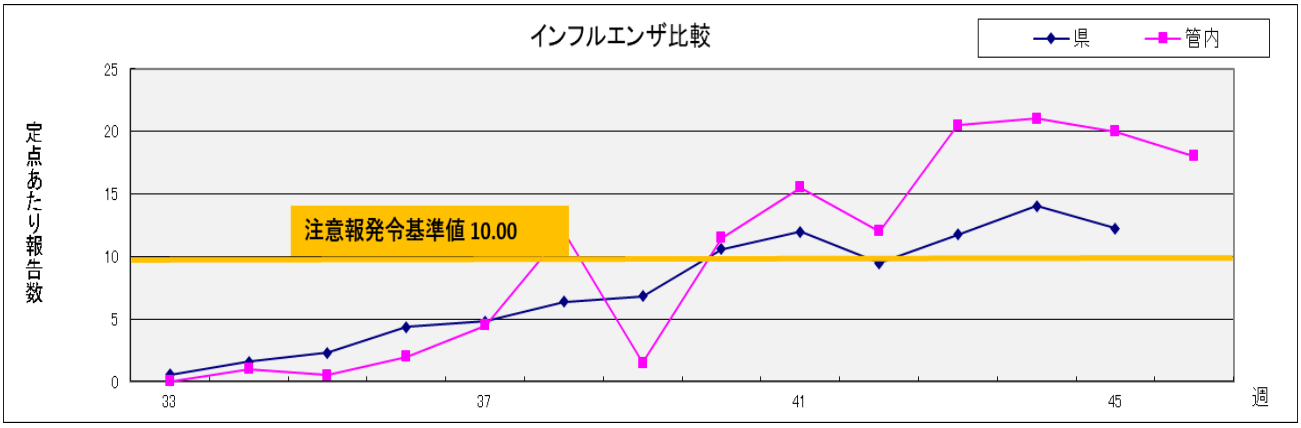
鹿児島レッドリボン月間は、11 月 16 日から 12 月 15 日までとなっており、この期間中、県内の保健所では、夜間・休日検査や街頭キャンペーン等、様々な取り組みが行われます。

伊集保健所では、レッドリボン月間中に夜間検査を実施します。検査は、無料・匿名で受けられますが予約が必要ですので、下記の番号にご連絡ください。

【HIV 夜間検査】電話番号　：　099−273−2332
場　　所　：　伊集院保健所
日　　時　：　12月　8日（火）午後５時から午後７時
予　　約　：　12月　7日（月）まで

注意すべき感染症

・インフルエンザ（流行発生注意報発令中）



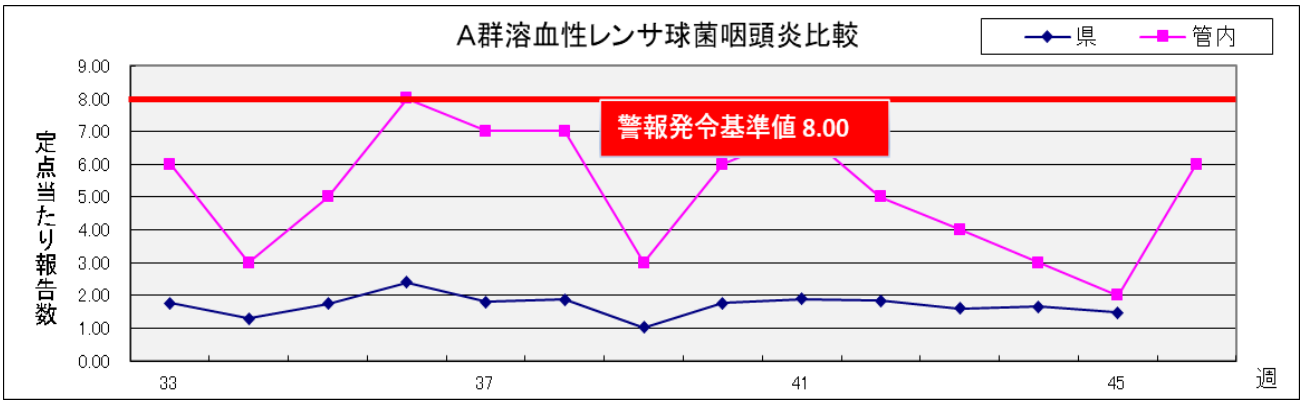
第 46 週の伊集院保健所管内におけるインフルエンザの報告数は、36 人（定点当たり 18.00）でした。

年齢別では、10～14 歳（13 人）、3 歳（5 人）、6 歳・7 歳（各 3 人）、1 歳・5 歳（各 2 人）、6 ヶ月～11 ヶ月・2 歳・4 歳・8 歳・15～19 歳・20～29 歳・60～69 歳・80 歳～（各 1 人）でした。

インフルエンザは、発症すると 38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感などの症状が比較的急速に現れることが特徴です。小児ではまれに急性脳症を引き起こすことがあり、高齢者や免疫が低下している方では二次性の肺炎を伴うことがあります。重症化するリスクがあるため、注意が必要です。

予防方法としては、普段から流水と石けんによる手洗いや、ワクチン接種をすること、咳が出る場合は、「咳エチケット」をすること、さらに十分な休養とバランスのとれた栄養を摂取することが挙げられます。

・ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



第 46 週の伊集院保健所管内における A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、6 人でした。年齢別では、4 歳・5 歳・6 歳・7 歳・8 歳・9 歳（各 1 人）の報告でした。

感染すると、2～5 日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が苺のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 11/9～11/15（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今今週は、インフルエンザが 29 人（型不明 18 人、A 型 11 人）、流行性角結膜炎が 1 人報告されています。

疾患名 / 自治体名	インフルエンザ	インフルエンザA型	流行性角結膜炎
日置市	6	8	1
いちき串木野市	12	3	0
三島村	0	0	0
十島村	0	0	0
計	18	11	1